

&lt; 参考資料 &gt;

1998年11月6日

## ノバルティス免疫学賞 ライフサイエンスのリーダー、卓越した医療研究に授賞

ノバルティス ファーマ社（スイス、バーゼル市）は、11月3日、医療研究に卓越した貢献を行った、以下の5人の臨床医に、総額20万スイスフランのノバルティス1998年免疫学賞 [基礎免疫学賞 / 臨床免疫学賞] を授与したと発表しました。授賞式は、インドのニューデリーで開催されている、第10回国際免疫学学会で行われました。

### < 1998年ノバルティス基礎免疫学賞（10万スイスフラン） >

- ・マーク・デイビス教授（米国・スタンフォード医科大学）、タック・マック教授（カナダ・トロント大学）  
「免疫反応のきっかけとして重要なTリンパ球（白血球細胞の一種）の表面における結合分子の解明」

### < 1998年ノバルティス臨床免疫学賞（10万スイスフラン） >

- ・バリー・ブルーム教授（米国・アルバート・アインシュタイン医科大学）  
「マクロファージ遊走と結核症に対する免疫におけるリンパ球の役割の解明」
- ・ジョージ・マッケナス教授（米国・ニューヨーク大学医学センター）  
「細胞内のバクテリアに対する細胞免疫の解明」
- ・アンドリュー・マクマイケル教授（英国・オックスフォード大学）  
「ビールス感染に対するリンパ球の反応における業績」

国際審査委員会の委員長でノーベル賞受賞者のロルフ・ジンカーナゲル教授は、受賞者を祝って「これらの非常に優れた科学者たちは、細胞免疫およびTリンパ球の役割についての基本的な解明に対して、大きく貢献しました。彼らの発見と研究は、近代の免疫学に大きな影響を与えました」と述べました。

ノバルティス ファーマ社は、過去30年間にわたって免疫分野で多くの功績を導いています。特に著名なのは、臓器移植に革命的变化をもたらした、免疫抑制剤サンディミュン<sup>®</sup>と、その改良フォーミュラであるネオオラル<sup>®</sup>の開発です。また、1990年に始まったノバルティス免疫学賞は、移植、自己免疫症、および腫瘍学の領域における革新的な研究開発に対する長期的なコミットメントを明白に示しています。

ノバルティスは、ヘルスケア、アグリビジネス、コンシューマーヘルス（一般薬、栄養食品）を事業の柱とするライフサイエンスにおける世界的リーダーです。1997年度のノバルティス グループの売上は312億スイスフランで、そのうち、ヘルスケアは170億スイスフラン、アグリビジネスは83億スイスフラン、コンシューマーヘルスは59億スイスフランでした。研究開発への投資は年間6億スイスフランを越えます。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約8万6,000人の社員を擁し、世界100カ国以上で事業を行っています。